

ピックアップ!  
ビジネスパートナー【優良受注企業紹介】

## 卓越したTIG溶接技術を誇り、 全社が一丸で技術力向上に努める

### 株式会社 東洋技研

#### 一経営のポリシーなどは、

ありきたりで、優等生的ですが、地域社会に貢献することです。そのため、まずは経営そのものを磐石にすることが求められます。時代や環境がどう変わろうと、私は、製造業こそが我が国を引っ張っていく基幹産業であると信じています。また、製造業の世界におけるイノベーションは著しいものがあり、さらにはマクロ的な動向として、一部でしょうが、生産の国内回帰がみられます。このような経営環境にあって、当社の存在感を高め、お客様から「東洋技研に頼めば大丈夫」と評価され、さらに深い信頼関係を構築できればと思います。この結果として、当社が安定し、地域社会に少しでも貢献できると思います。

#### 一ポリシーの実現に向け、日常の経営において取り組んでいることは、

一にも二にも技術分野における競争力向上が最重要ですので、これを目指し色々な分野に取り組んでいることでしょうか。例えば、削り難いため形状確保、高精度をあげることが難しいステンレス加工は、当社ならではの技術力を発揮できる分野ですので、全社をあげてこの分野での実力を高めるよう努めています。また、技術力向上は納期の短縮化等をもたらしますので、こ

れを納入価格に適正に反映し、適正利益の確保を可能にしています。これもお客様との信頼関係が成り立っているから可能なことです。また、品質保証は技術力の重要な一部ですので、品質本位の経営姿勢を鮮明に示すためにも、昨年12月、ISO9001を取得しました。

これらを日々、実践することは経営者である私一人の問題ではおぼせません。全社員に同じ意識、同じ自覚をもってもらう必要があります。私は、全社員が家族同然と思っていますので、全社員が安心して働くことができる環境を整えることが、経営者の務めであると認識しています。このため、以前から経営内容をガラス張りに行っていることもこの表れの一つです。

#### 一取引先、営業品目などは、

主な取引先は半導体製造装置と工作機械のメーカーです。主な営業品目は二つあり、一つは半導体製造装置に組み込まれる精密部品の加工と組立で、もう一つは工作機械に組み込まれるこれも精密部品です。これらは単品もしくは小ロットで、高精度を要求されるものが大半で、当社がモノづくり際にこだわっている「多品種小ロットへの特化」志向にも合っています。たまには半導体製造装置の試作機に搭載される部品もありますが、これの材料はステンレスのほかチタンもあります。

#### 一TIG溶接の技術も優れているとかがいしましたが、

TIG溶接の技術は、一貫したオーダーに対応し、当社としての総合的な付加価値を高めるためのものです。ステンレス管をつなぐことは勿論、マニホールブロック加工や曲げなどができ、それぞれの用途に応じて完璧な仕上げを期しており、TIG溶接は当社が自負できる技術です。その一例ですが、半導体製造装置の水まわり部品の場合、品質確保のため、管の中にヘリウムを注入し負荷を与えてリークテスト(漏れのチェック)をします。このリークテストを経て完成した部品には当社の製造番号を刻印し、当社の製造責任を明らかにしています。

#### 一生産工程で工夫、改善されていることは、

具体的な工夫、改善に先立ち、まずは風通しのいい職場環境にするため、工場内ではお互いに声を掛け合い、連携を密にするということを大事にしています。そのため、明るく、ゆったりとしたスペースで作業を進められるようレイアウトを整備しました。この環境の中で、自動機のラインアップを充実するとともに、手動式の旋盤やフライス盤も活用しています。どんな精度の高い部品を加工する場合でも、最終的には熟練工



による眼と技は欠かせません。つまり、自動機によって効率を追求すべき工程と人間だから可能になる工程がうまく連動するよう配慮したものです。

#### 一そのほかに工夫等していることは、

ITの活用によるものがあります。IT化により、現場では加工品目別バーコード管理が定着しています。これによりどの工程で誰が、何を、どの段階まで加工しているかがリアルタイムで把握できます。また、発注内容や図面情報は、オンラインで各取引先から受注担当部門に届くようになっています。この流れとは逆に、当社からお客様に見積書などを送っています。生産現場ではありませんが、管理部門でもITは活用しています。収支状況は、全社的にその時々のもを正確に把握できますし、各種経営指標による分析ができ、意思決定が迅速化しています。このようにIT化により、受注管理、納期管理、コスト管理等が飛躍的に円滑化し、大きな効

果をあげています。

#### 一最後になりますが、現在の受注状況は、

半導体関連の部品が多い関係で、いわゆる「シリコンサイクル」による市況変動の影響を受けやすいことはあります。近年では、数か月単位で山の時期、谷の時期を繰り返しています。業界全体の流れで、猛烈なペースでオーダーが殺到するかと思えば、動きが緩慢になりますので、その都度、生産シフトを柔軟に組み替えています。これも当社の重要なノウハウでしょうか。また、オンデマンド方式の一般化にとともに、調達側はできる限り在庫を持たない傾向が顕著になっています。

こんな中、オーダーが急伸することはないと思いますが、次世代向けDVD等の設備投資が牽引材料になるのではないかと期待しています。そんなことから、ここ当分、底堅いペースでの受注を維持できると思います。



菊池長寿社長

#### 企業概要

設立：昭和56年5月  
代表者：代表取締役社長 菊池 長寿  
所在地：花巻市の神643-1  
電話番号：0198-22-3965  
FAX：0198-22-3966  
URL：http://iwateinfo.co.jp/toyo  
E-mail：toyogk@d4.dion.ne.jp  
資本金：1,600万円  
従業員数：23名

事業内容：半導体製造装置に搭載する部品の精密機械加工ならびに組み立て。ステンレス、チタンを素材とする機械部品の精密加工。ステンレスTIG溶接。

主要取引先：東京エレクトロンAT(株) 東北事業所・ニチコン岩手(株)ニチコン朝日(株) (株)鷹宮製作所(株)啓装工業

主要設備：立型マシニング各種・タッピングセンター・ドリルセンター各種・立型NCフライス・精密治具フライス・立型フライス・横型フライス・NC旋盤・精密旋盤・精密平面研削盤・3軸ボール盤・単軸ボール盤・自動タッピング盤・手動タッピング盤・精密投影機・三次元測定器・ヘリウムリークテスト機

